

活動情報

問合せ先

TEL 0948(23)4154

FAX 0948(29)4866

e-mail iizuka-dlc@pref.fukuoka.lg.jp

地域振興課 水田農業係



第10号



JA直轄管内で飼料用米品種を比較

－飼料用米の単収増を目指して－

JA 直轄では、飼料用米として、「夢あおば」と「ミズホチカラ」を栽培しています。

「夢あおば」は、普通期栽培で単収が増加しにくく、「ミズホチカラ」は、10月上旬までの用水がなければ単収が十分確保できないことが課題となっていました。

そこで、普及指導センターから JA に品種比較試験の提案を行い、有望と思われる品種「笑みたわわ」の種子を確保し、試作することにしました。

「笑みたわわ」の品種特性は、「ミズホチカラ」より熟期が10日程度早く、9月下旬まで用水が確保できればミズホチカラと同等の単収が見込めます。また倒伏性が強く、穂数は少な目ですが、穂が大きい穂重型です。「夢あおば」も穂重型ですが、一穂粒数の目安は「夢あおば」が130粒、「笑みたわわ」が140粒です。

7月24日の調査では、草丈は「夢あおば」を100%とした時、80%であり、約20ポイント短く、がっしりとした草型でした。「笑みたわわ」は、「夢あおば」と茎数がほぼ同数でしたが、「笑みたわわ」の一穂粒数が「夢あおば」より多い特性がありますので、多収が期待できます。

今回の結果が良ければ、飼料用米品種として「笑みたわわ」の普及・拡大が見込まれます。

普及指導センターでは、これからも、農業者の所得拡大に向け、支援していきます。



左：笑みたわわ 右：夢あおば 7月26日撮影